

オニグルミ

Juglans ailanthifolia

クルミ科



オニグルミ

名前の由来

オニ（鬼）は、殻の表面がなめらかなヒメグルミに対して、凸凹がありゴツゴツしているため。クルミは、①呉の国から伝えられたので呉実（くれみ）から、②黒実（くろみ）から、③殻が固いので凝実（こるみ）から、④殻に包まれているので包（くるむ）から、ほか多くの説がある。漢字名：鬼胡桃

形態的特徴

やや湿ったところに生える落葉広葉樹、樹高20m。雌雄同株。葉は奇数羽状複葉、長さ25～50cm、小葉9～21。黄色く紅葉。花は雄花は淡緑色、穂状で10～30cm、雌花は赤～淡赤色、穂状で直立か斜上、5～6月開花。雌雄異花。冬芽は互生。果実は卵円形で長さ3～4cm、黄緑色で褐色毛を密生、核は楕円形で長さ約3cm、10月成熟。

類似種との見分け方：奇数羽状複葉の大木にはヤチダモやキハダがある。

ヤチダモが対生なのに対し、オニグルミは互生。キハダは樹皮がコルク質だが、オニグルミはそうではない。オニグルミの枝抜けのあと（葉痕）は、猿や羊の顔のように見える。



雄花と雌花をつけたオニグルミ



オニグルミの雌花



実をつけたオニグルミ。実には毛が多い



オニグルミの樹形



オニグルミの樹皮。老木では縦に裂ける



オニグルミの冬芽と葉のあと（葉痕）



オニグルミの葉。これで一つの葉

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期		■										
結実期						■						

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

（在来種）
草花

（外来種）
草花

哺乳類

（水辺）
鳥類

（草原・樹林）
鳥類
ワシ・タカ

生育環境・分布

河岸または平地の湿潤な肥沃土に生育し、多数の広葉樹と混交する。土壌：壤土、適潤性～弱湿性、通気の悪い土でも耐える、pHは弱酸性、堅密度は耐堅密性。陽性木。

分布：国外分布は、樺太。国内分布は、北海道、本州、四国、九州。北海道内分布は、全域。十勝地方生育状況は、全域。

繁殖生態・寿命

花は5～6月に開花。種子は9月～10月に成熟。リスやネズミ等の小動物により種子分散。寿命は不明。

他生物との関わり

オナガシジミ（チョウ）の食樹。

エゾリス、エゾアカネズミ等、小動物の重要な餌資源。種子は動物によって散布される。穴の開いたクルミはエゾアカネズミの食痕、半分に割れたクルミはエゾリスの食痕。



オニグルミの実生。運ばれ貯食されて広がり、食べ残されて発芽する



エゾリスと、エゾリスの食べたオニグルミ(円内)



エゾアカネズミと、エゾアカネズミの食べたオニグルミ(円内)

植栽関係

実生による。種子は1年で発芽。種子は果肉を除去し、とりまきする。7月～8月の緑色の種子はタネが未成熟で発芽しない。樹齢40年で、直径20cm、樹高8m、根系の最大

深度180cm、根の広がり半径1m。根の支持力は強い。移植は難しい。挿し木は難。

興味深い話

■家具材、銃床、公園樹などに用いられる。種子を割って食用とする。滋養強壮、鎮咳作用があるといわれる。絞った油は灯用、木のつや出しなどに使用する。材は硬く緻密で、洋間の諸造作。敷居の他机や椅子に用いられる。古くから食用として用いられ、縄文時代の遺跡から出土しているクルミは、大部分がオニグルミ。

■実は小さいとき上向きに付くが、7月に入ると大きく重くなるので、垂れ下がってくる。

■十勝地方のアイヌ語では「ネシコ」といい、実は「ニヌム」という。

■アイヌ文化では樹皮を材料とした主な染料として、ケネ（ケヤマハンノキ）からとったフレ（赤茶）とネシコ（オニグルミ）からとったクンネ（紺）の2色がある。いずれも外樹皮を捨てて煮ると発色する。オヒョウの内皮が良く染まる。実（ニヌム）と呼び、冬の食べ物とした。

■十勝の名木：帯広市大正消防署（樹齢70～80年）、新得町上佐幌19区（推定50年）

配慮事項

樹齢40年で、直径20cm、樹高8m、根系の最大深度180cm、根の広がり半径1m。根の支持力は強い。移植は難しい。挿し木は難。リスやネズミの秋～冬の重要な餌資源となる

ので、それらの生息状況も確認する必要がある。タネの発芽率が良いので、種子を足で踏んで埋めておくとよい。

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(鳥辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ

参考文献

「図説花と樹の大事典」木村陽二郎 監修 植物文化研究会・雅麗 編集 柏書房 1996

「アイヌ植物誌」福岡イト子 草風館 1995

「新装版 樹木根系図説」苧住昇 誠文堂新光社 1987 (バッコヤナギで検索)

「日本のチョウ」上野明雄 小学館 1981

「北海道主要樹木図譜」宮部金吾・工藤祐舜 北大図書刊行会 1986

「北海道 庭と庭木のすべて」原秀雄・須田輝 北海道新聞社 1978

「アイヌ語で自然かんさつ図鑑」帯広百年記念館(編)、内田祐一・池田亨嘉、帯広百年記念館友の会 2004